

## 秩父市中学生社会体験チャレンジ事業への協力

秩父市からの要請を受け平成 22 年 6 月 8 日、地元荒川中学校 2 年生 3 名の社会体験チャレンジ事業への協力を行いました。

荒川ダム総合管理所では、管理業務体験を通じてダム管理業務を多くの方にご理解頂くため平成 20 年度より協力をしています。



社会体験チャレンジ参加者（左から）  
大澤くん、山中くん、浅見くん



貯水池の水を採取して水質を調べるために、巡視船に乗って採水を行いました。



採水した水を電子顕微鏡で調査を行いました。水に含まれる植物プランクトン等がどのくらいいるのかを調査しました。



管理所には、台風等の大雨や、雨の少ない時に下流河川の水が不足した場合に、ダムからの放流量を調節する設備があります。

今回は、以下の設備の役割や機能について学びました。

- ①ダムからの放流量を調節するための管理制御処理設備
- ②ダムから放流し、に河川水位が上昇する際、お知らせを行う警報設備
- ③ダムから放流する際に河川の安全確認を行うための監視カメラ設備



実際にダムの水の量を調整するゲート設備は、浦山ダムでは、40m<sup>3</sup>/s を放流する水管の水を制御するゲート等があります。これらの構造や機能について学びました。